

# 来てけれ! 秋田市

産業振興部産業企画課

加藤 優子

## 農家レストラン ゆう菜家



まだ農家レストランという言葉が一般的でなかった平成12年に雄和向野地区にオープンしたゆう菜家。無農薬の自家栽培野菜や地域の野菜を使ったメニューが評判ですが、やはりなんと言っても看板メニューは、無農薬栽培モロヘイヤを摘みたての新鮮さそのままに「生」で練り込んだ、モロヘイヤめん。つるつるとした喉ごしが良い麺です。他にも古代紫米めんやヤーコンめんなど、自家栽培の食材を練り込んだ麺も人気です。

## 芝野頭首工



芝野頭首工は、農業農村整備事業では事例の少ない、鋼製起伏堰（ゴム袋体支持式）を採用し、一級河川雄物川水系岩見川から導水し、河辺地域477.8haの農地へ用水を供給しています。

## 秋田竿燈まつり(8/3~8/6)



竿燈まつりは、厄除けや五穀豊穡などを願う260年以上も続く国の重要無形民俗文化財に指定されているおまつりで、毎年8月3日から6日までの4日間開催されています。高さ12m、重さ50kgにもなる竿燈を手の平、額、肩、腰で自在に操る妙技は圧巻です。

## 平沢地区園芸メガ団地



平沢地区園芸メガ団地は、県の園芸メガ団地整備事業を活用して雄和平沢地区に整備された大規模園芸団地です。

事業主体の農事組合法人平沢ファームは、農地集積加速化基盤整備事業にあわせて設立され、メガ団地内での「えだまめ」、「ねぎ」、「ダリア」の栽培に加え、稲作と大豆の大規模経営に地域ぐるみで取り組んでいます。

## 秋田市北部地区カントリーエレベーター



秋田市北部地区カントリーエレベーターは、平成27年8月17日に完成しました。秋田市で初のカントリーエレベーターは、建物に描かれた竿燈米とイラストが目印です。稼働して2年目を迎え、今年もおいしいお米を収穫し、消費者の皆様に向けて出荷作業を進めています。

## 土崎港曳山まつり(7/20、21)



港町・土崎にある土崎神明社の例大祭として300年以上前から伝わる国の重要無形民俗文化財に指定されているおまつりで、町内ごとに勇壮な武者人形を飾りつけた曳山が港ばやしに乗って市内を練り歩きます。



# 小種地区に存在した大沼の歴史

秋田県協和土地改良区

池田 斉



昭和61年小種小学校  
生徒が作成した紙芝居  
居より抜粋



昭和36年建立 頌徳碑

秋田県協和土地改良区は、大仙市協和小種土地改良区と大仙市協和土地改良区が平成28年1月7日に統合され、新設された土地改良区である。

水源は、1級河川雄物川、淀川、数か所の農業用ため池からとなっており、河川からの取水施設として、大小30施設あまりの揚水機の管理も行っている。

大仙市協和小種地区に伝説的に言い伝えられている、大沼の干拓から現在までに至る経緯について、旧大仙市協和小種土地改良区発刊の記念誌並びに、関係機関の土地改良史を広げてみたいと思った。

小種地区は秋田県の中央部に位置し、周囲を1級河川『雄物川』に囲まれた地形であり、地図を見ればお分かりのように舌状台地となっている。

大正当時、地区の中央には大きな沼が存在しており、沼の周辺は一面の湿地地帯で代掻きも馬が使えず人力で行い、腰まで浸かり手植え作業をしなければならなかった。その為、毎年冬になれば川向かいから良質な土を田に運び入れた。

雨季になれば、大沼から溢れた水に襲われ、干ばつになれば大沼から足踏み水車で水をかき揚げなければいけなかった。また、当時の平均反収は1石以下と極めて低い状況であったと歴史誌に記されている。

そのような事から、先人たちは、55haの大沼の干拓、230haの耕地整理を行い、同時に雄物川に水源をもとめ、福部羅揚水機を築造し、100馬力×19吋の揚水機2機を設置している。

この大沼の干拓事業の提唱者である、加藤金司氏を称え、現在の美田を一望出来る場所に頌徳碑が建立されている。

その後も、第2次暗渠事業、水路改修事業など、たゆみない農業基盤の改良を続けたが、沼地の名残もあり大型機械の導入までには至らなかった。

平成13年から県営経営体育成基盤整備事業を実施し、軟弱圃場への基盤改良及び、最新の暗渠排水施設を設置。新揚水機場も築造され現在では、経営規模で県内屈指とも言われる農事組合法人たねっこが、先人たちの汗と涙にまみれた農地を守っている。

私たち小種地区に住むものにとって、大沼の伝説は代々受け継がれていくことであろう。



▲小種地区現形図 大正14年作成



▲県内屈指の経営規模  
農事組合法人たねっこ



▲田植え作業 直播



▲大型コンバインでの刈取り作業

Grow ing g?



秋田県雄物川筋土地改良区

大沢 鐘代

県内の農作業も終盤となり、秋果に舌鼓を打ちながら、冬支度を進める頃となりました。今年には台風10号が東北初上陸し、県北・中央部を中心に被害にあわれました方々には謹んでお見舞い申し上げます。

当改良区は、今年度より管内7改良区が合併し、職員数も増加して、手狭ではありますが賑やかな職場となりました。作業手順や書類作成方法など異なる点も多く、まだ戸惑う事もありますが、新たなメンバーで心機一転、組合員の皆様にとって少しでも負担軽減となるよう努めたいと思います。

私が会計を担当しております多面的機能支払交付金の活動組織も今年で3年目となりました。当初に比べて事業内容も徐々に浸透し、労働対価が発生することや、今までなかなか手を掛けられなかった補修が可能になる等、各集落の方々自主的に活動に取り組んでくださるようになり、喜びの声もある反面、高齢化による人員確保が難しい等、懸念の声も聞こえるようになってきました。私も少しずつですが、役員会や説明会・研修などに参加し、今後の課題や方策を地域の方々とともに考えていきた

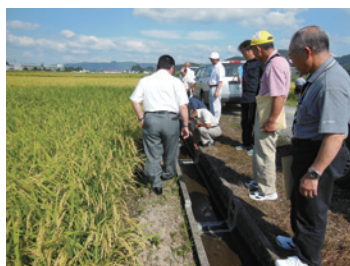
いと思います。また、今回合併したことにより他地区の活動などを直に参考に出来る点もメリットだと捉えています。この活動を始めてから、外で担当地区の方に気軽に声を掛けてもらえるのも嬉しいですね。まだまだ勉強中、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



他県の保全会が視察



活動組織の役員会に参加中



他地区の水路補修を視察

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。

○仁井田堰土地改良区(H28.10.6)

理事長 鈴木 肇

水土里の技術



本会のドローン (UAV) で撮影された田んぼアート(鹿角・末広)が表紙になりました!

今後は圃場整備や災害対応でもドローンを活用していく予定です。

かづの土地改良区だより  
10月号より

連 合 会 日 誌

10月13日	平成29年度農業農村の振興施策に関する意見交換会	秋田市
10月21日	第44回全国土地改良事業団体連合会職員連絡協議会総会	秋田市
11月11日	平成28年度役員講習会平鹿支部	横手市
11月15日	平成28年度役員講習会仙北支部 (～16日)	仙北市
11月17日	平成28年度役員講習会山本支部 (～18日)	大潟村
11月18日	平成28年度役員講習会雄勝支部	湯沢市
11月22日	平成28年度秋田県農林水産フォーラム	秋田市
11月24日	平成28年度役員講習会由利支部	にかほ市
11月24日	平成28年度役員講習会鹿角、大館・北秋田支部 (～25日)	鹿角市

今後の行事予定

11月28日	農業農村整備の集い	東京都
11月29日	東北・北海道土地連平成29年度予算確保に向けた要請活動	東京都
11月29日	平成28年度職員講習会仙北支部	大仙市
12月1日	平成28年度役員講習会秋田支部	秋田市
12月2日	平成28年度職員講習会秋田支部	秋田市
12月21日	第5回監事会・第3回理事会	本会会議室



# 協和のパワースポット

水土里レポーター：秋田県協和土地改良区  
齋藤 善嗣

大仙市協和にある『唐松神社』は、安産祈願で有名な神社です。

日本全国から参拝に訪れます。参道には、天然記念物にも指定されている杉並木、推定樹齢300年だそうです。

夏に訪れると、ヒンヤリと涼しく、重々しい雰囲気醸し出している。

皆さん、おらほのパワースポットに一度訪れてみては？



▲唐松神社



あまつひのみや  
▲天日宮

## 「ふるさとの田んぼと水」 2016 子ども絵画展

全国から7,879点の応募があり、10月11日に審査会にて、入賞23点、入選164点、地方団体賞42点が選ばれました。11月26日から12月3日まで東京都美術館2階第1公募展示室にて展示を行います。他2箇所でも展示予定です。



水土里ネット秋田会長賞

「ぼくたちの通学路」

鹿角市八幡平小学校4年  
阿倍 煌春



みどりちゃんの  
活用情報コーナー

水土里ネット稲川

参加者には、みどりちゃんの  
クリアファイルを  
プレゼントしました!!

### 「第13回ゴミ捨て防止標語コンクール」 最優秀選考作品

#### 【小学校の部】

川連小学校4年 佐藤皇太郎  
「わか町の時がたてど 変わらぬもの  
すんだ心と空気 ほこれる自然」

#### 【中学校の部】

稲川中学校1年 佐藤 羽那  
「ゴミの無い 自然豊かな わか町の  
変わらず続く きれいな姿」



### リレー 感想文



毎号、盛り沢山の写真と記事内容に感心しています。今後も楽しく為になる情報提供をよろしくお願いいたします。

稲川土地改良区：

会計 沼倉美知子 より

### 編集 後記

今回発行する秋号について、「推進大会や全国大会の記事をタイムリーに載せたい!」ということから、発行日を1ヶ月遅くしております。この号が発行される頃には、役職員講習会も終盤に差し掛かっているのではないのでしょうか…? 今年には雪が多いという予想もありますし、皆様ご自愛下さいね。

(事業調整センター◆寺山)

